

【第22号】
平成27年 6月19日

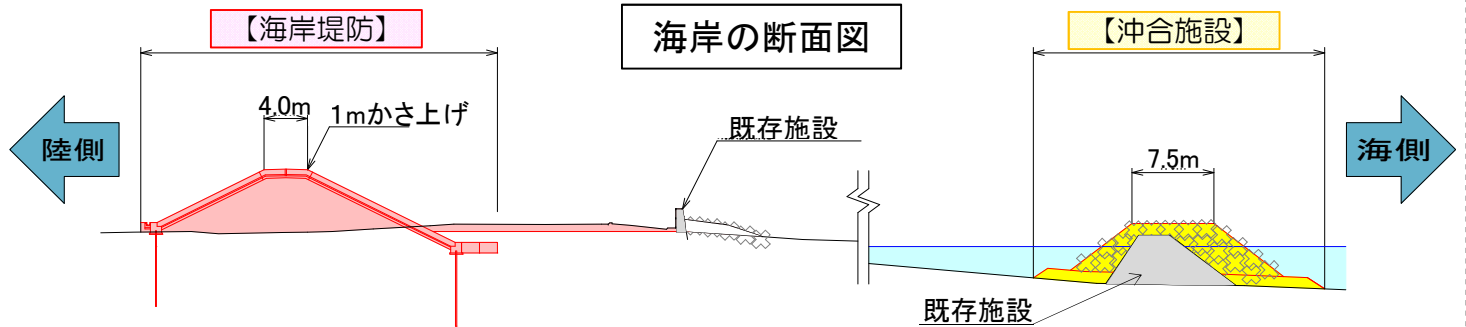
相双建設事務所 復旧復興だより



(この便りは、相双建設事務所が取り組む復旧・復興事業の進捗状況などをお伝えするものです。)

◆浪江町の海岸で復旧工事に着手しました。

浪江町の海岸保全延長5,049mのうち、当事務所が所管する3つの海岸（棚塩地区海岸、請戸中浜地区海岸、浪江中浜地区海岸）総延長2,462mの災害復旧事業について、6月3日（水）、棚塩地区海岸の工事現場で着工式を開催しました。はじめに波の威力を弱める沖合施設（離岸堤、人工リーフ、消波工）を復旧、その後に海岸堤防を整備し、平成29年度の工事完成を目指します。



【海岸堤防】

震災前から堤防を高く（1mかさ上げ）、勾配を緩く（2割）するとともに、表面を厚さ50cmのコンクリートで覆うことで、津波に対して粘り強い構造とします。

【沖合施設】

被災した施設に新しいブロックを補充して被災前の形状に復旧します。

海岸名	堤防延長 (m)
棚塩地区	1,041.7
請戸中浜地区	931.8
浪江中浜地区	488.5



「着工式の様子」



◆塚原海岸、小高川(南相馬市小高区)で安全祈願祭が開催されました。

6月12日(金)、南相馬市小高区の塚原地区海岸と近接する小高川において、災害復旧工事の施工者による安全祈願祭が開催されました。

これまでに塚原地区海岸の消波ブロック設置が完了し、これから堤防工事が本格化することに伴い、工事関係者を始め地元行政区長の方々とともに、円滑で安全な工事進捗を祈願したものであり、今後は一日も早い工事完成を目指します。



「安全祈願祭の様子」

◆小野富岡線五枚沢工区の現場を公開しました。

「ふくしま復興再生道路」に位置付け重点的な整備を進めている小野富岡線五枚沢工区のトンネル(306m)工事現場において、5月22日(金)、川内中学校の現場見学が行われました。

当日は生徒12名、教員7名に工事中のトンネル内の状況や、重機が動く様子などを見学いただき、道路整備の効果やそれに必要な工事の内容を理解していただきました。

現場を見学した生徒の感想

- トンネルだけの工事で約8億円、全てを合わせると約10億円もするなんてすごかったです。
- トンネル掘削で大変な事や危ない事などを教えてもらい、トンネル掘削には長い時間と何億円というお金がかかるのを知って、とても驚きました。
- トンネルを掘るのにいろいろな機械を使っていて驚きました。



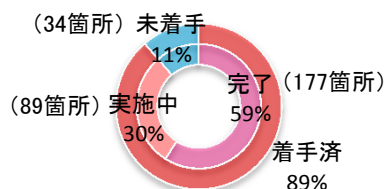
「川内中学生の現場見学の様子」



◆その他の情報

◇震災等の災害復旧工事の進捗(H27.5月末)

※対象は相双建設事務所が管理する道路、河川、海岸等であり、放射線量が高く査定が未実施の避難指示区域の一部は含まず。率は事業箇所数で算出した割合。



◇県道原町川俣線 八木沢トンネルの掘削状況

H27.6.18現在、全長2,345mのうち南相馬市側から1,390m地点を掘削中。(残り955m)

○次回は、「新地町沿岸部の復旧・復興事業の状況」をお伝えする予定です。

(事業の進捗状況等により変更する場合があります)